

# 成人看護学実習1

単  
位  
数

3

時  
間  
数

135

2年次 1月～3月 開講

## 目的

成人期にある対象の特徴を理解し、健康の状態に応じた看護の実践ができる。

## 目標

1. 成人期にある対象を総合的に理解することができる。
  - 1) 患者の発達段階と発達課題がわかる。
  - 2) 患者の発達段階をふまえ、身体的・精神的・社会的側面が理解できる。
2. 成人期にある対象の看護の必要性を決定することができる。
  - 1) 患者の身体諸機能の変化・生活習慣・社会背景が健康に及ぼす影響が理解できる。
  - 2) 患者の疾患・治療・入院が身体的・精神的・社会的側面に及ぼす影響が理解できる。
3. 成人期にある対象の健康状態に応じた援助が実施・評価できる。
  - 1) 患者の疾患・治療・入院に伴う心身の変化に合わせた援助が実施できる。
  - 2) 患者の価値観・社会背景・生活習慣を考慮した援助が実施できる。
  - 3) 患者の意思決定を支える援助が実施できる。
  - 4) 社会生活の適応を促す援助が実施できる。
  - 5) 家族への支援が実施できる。
4. 対象をとりまく他職種との連携の必要性がわかる。
  - 1) 患者に必要な社会資源を考えることができる。
  - 2) 他職種との連絡調整方法を知る。

\*実習内容・実習方法・実習評価の詳細は実習ハンドブック参照

## 学習上の留意点

この科目の受講にあたっては、以下の科目履修が要件となる。

基礎看護学実習2、麻酔と手術療法、臨床看護総論、成人看護学概論、急性期看護、周手術期看護、慢性期看護、リハビリテーション看護